

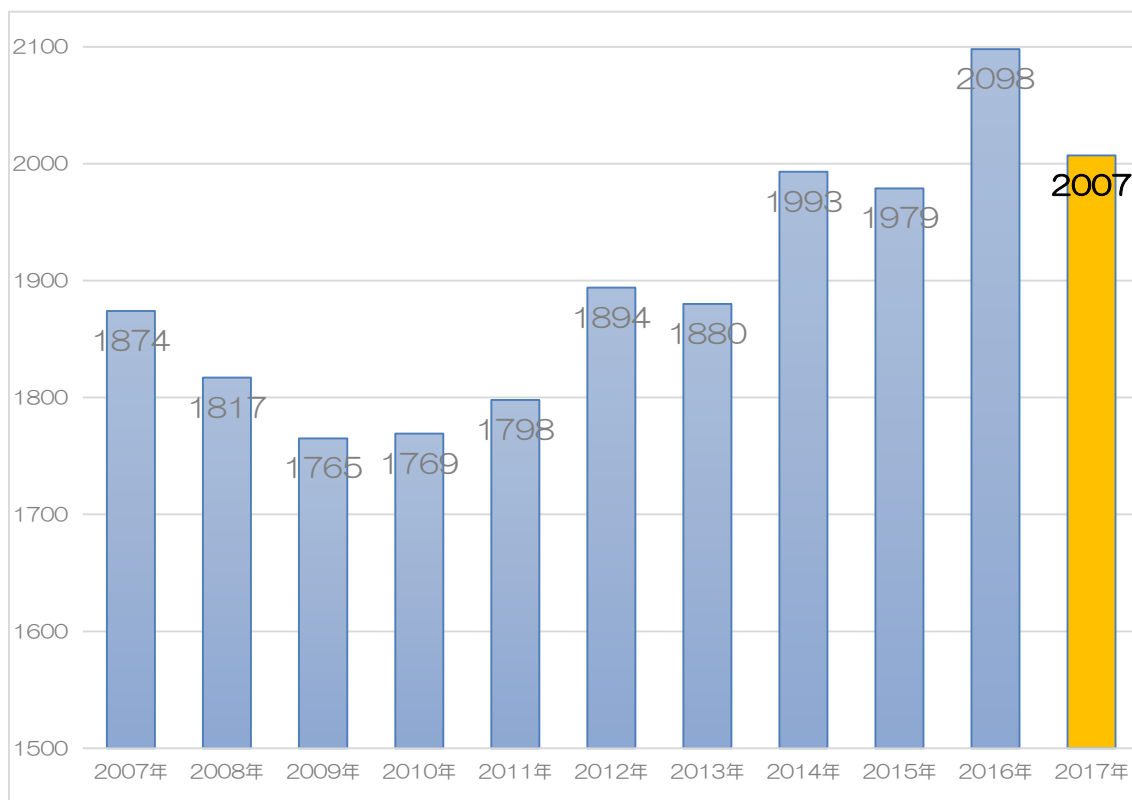
## 院内がん登録について

院内がん登録とは、入院・外来を問わず、各病院で把握された全ての「がん（＝悪性腫瘍）」について、診断・治療・予後に関する情報を集め、整理・保管し、集計・分析を行う仕組みのことです。各施設で集められたデータは、統一された様式で、国立がん研究センターに定期的に提出しています。

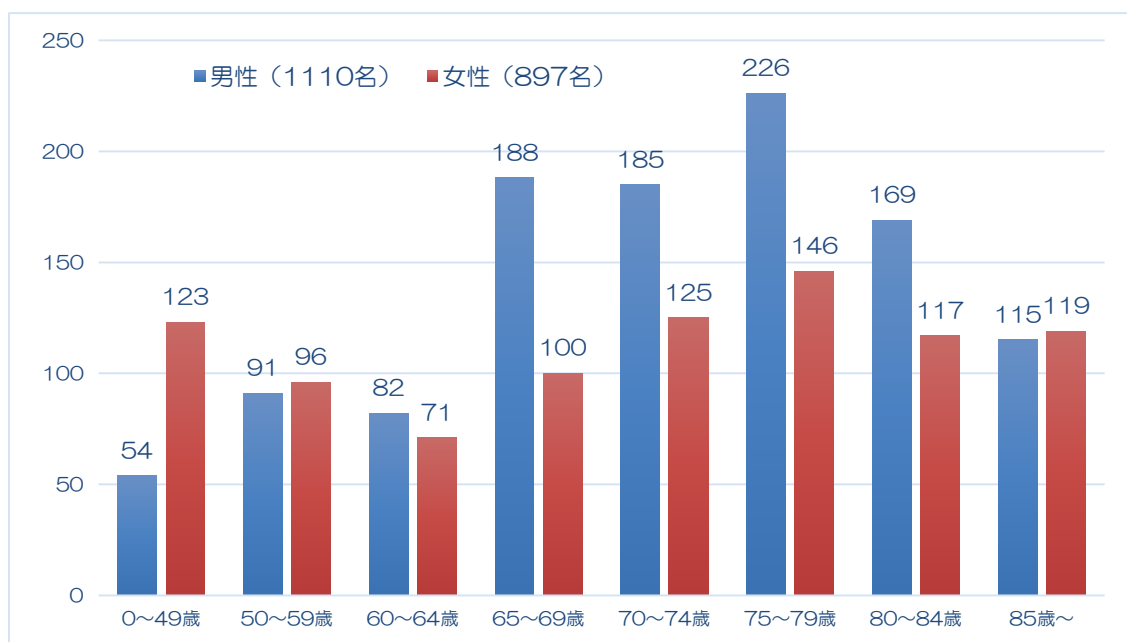
当院では、がん診療連携拠点病院の指定要件に則って、2007年1月1日以降に把握された「がん（＝悪性腫瘍）」を登録対象としております。1つの腫瘍に対して1例の登録ですが、登録された腫瘍の再発や転移については、登録対象とはなっておりません。また、脳腫瘍・下垂体腫瘍・髄膜腫については、原則として、良性であっても登録対象としております。さらに、セカンドオピニオンについても、登録対象としておりません。

以下に、当院の院内がん登録の**2017年症例登録データの分析結果**をご報告いたします。

グラフ① 院内がん登録総件数の推移

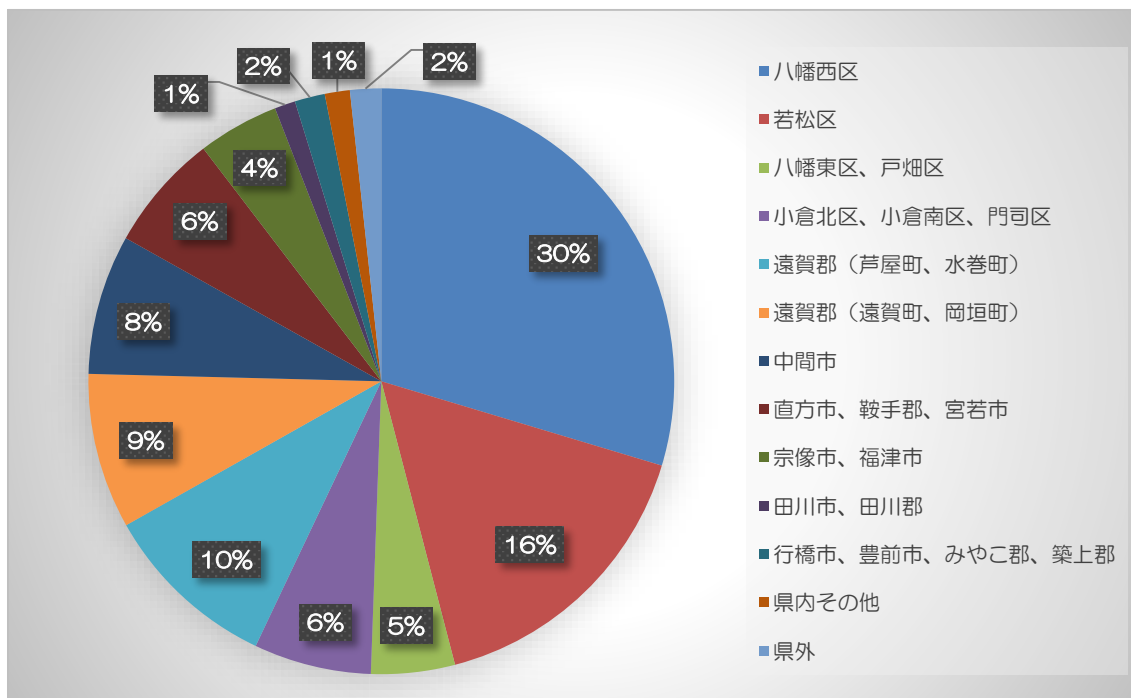


グラフ② 年代別・性別件数



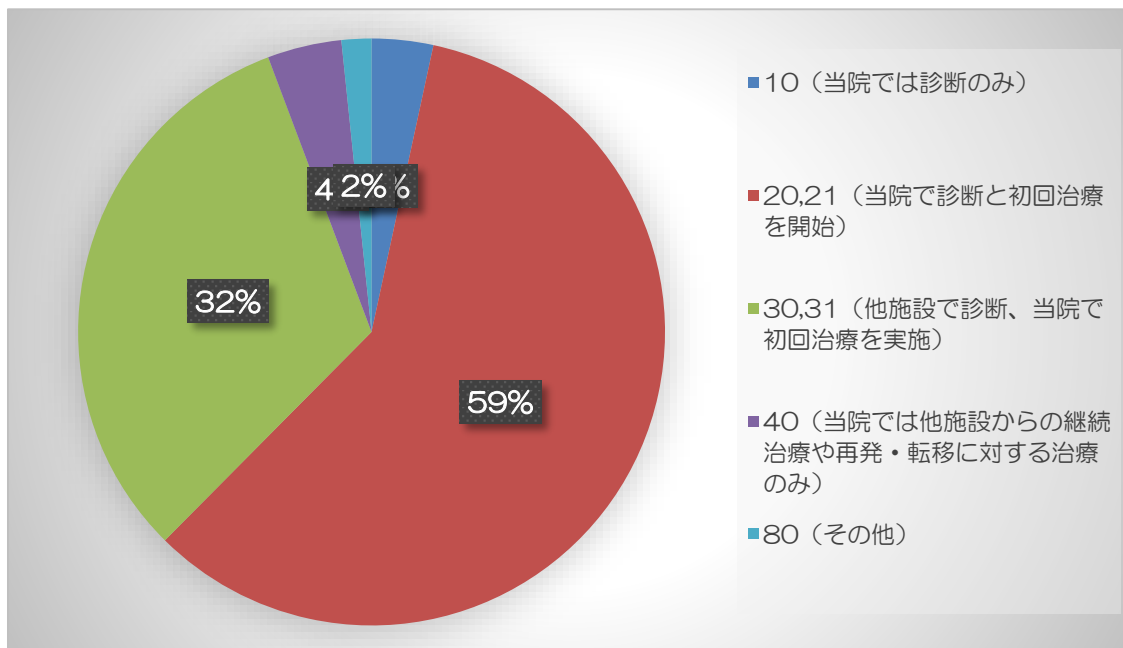
※男女とも60歳代以上で約7割を占めています。総数では男性が多いですが、59歳以下に関しては、女性が多いようです。

グラフ③ 患者居住地割合



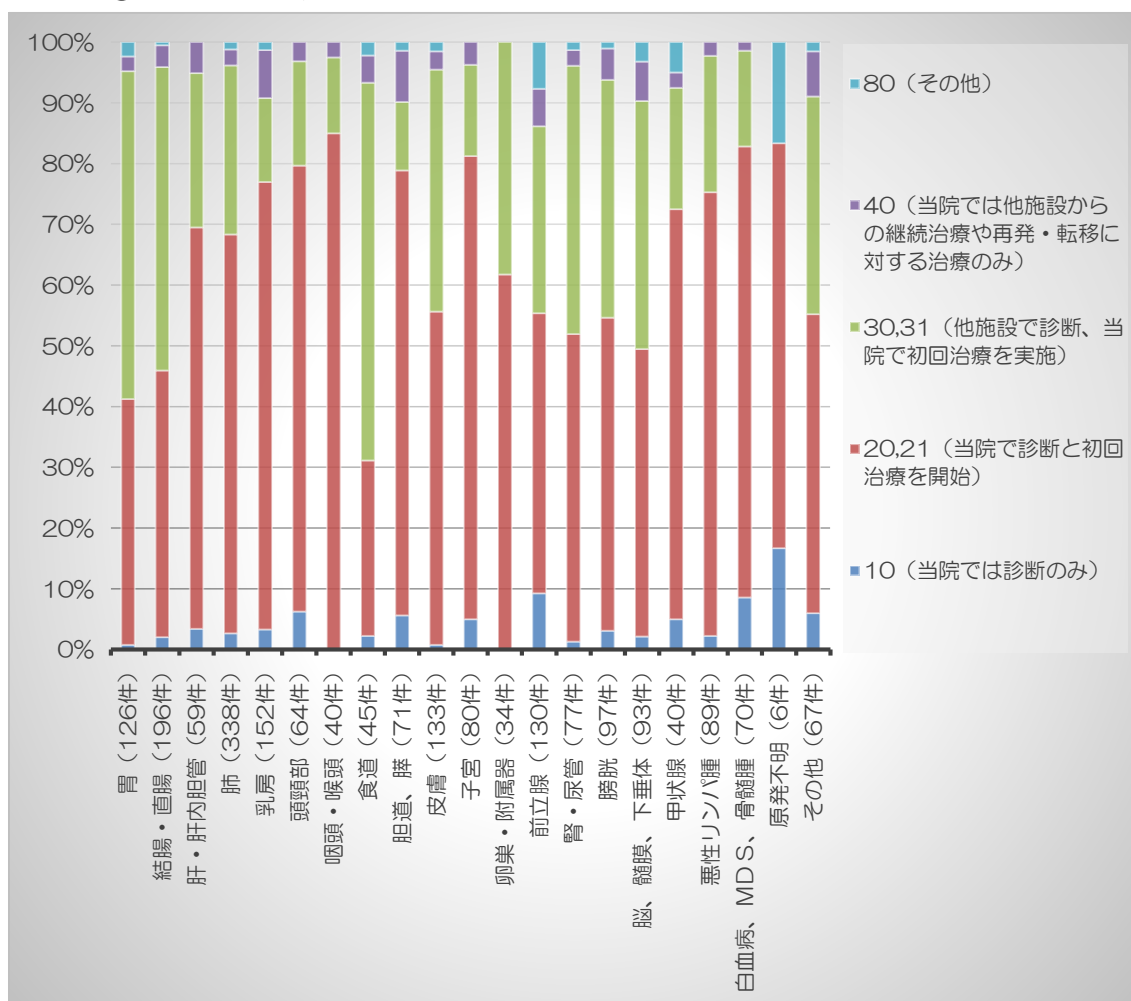
※八幡西区や若松区、遠賀郡だけでなく、他の地域からも多数の患者さんが受診されています。

グラフ④ 症例区分割合



※当院にて診断および初回治療を受けられた方が大半を占めていますが、他院での治療後に再発・転移された症例にも対応しています。

グラフ⑤ 部位別症例区分別割合

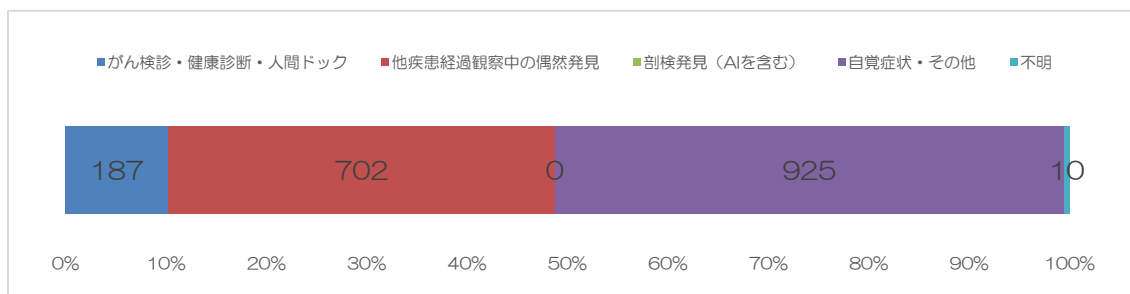


※あらゆるがんに対し、診断、治療、再発・転移などの段階からでも柔軟に対応しております。

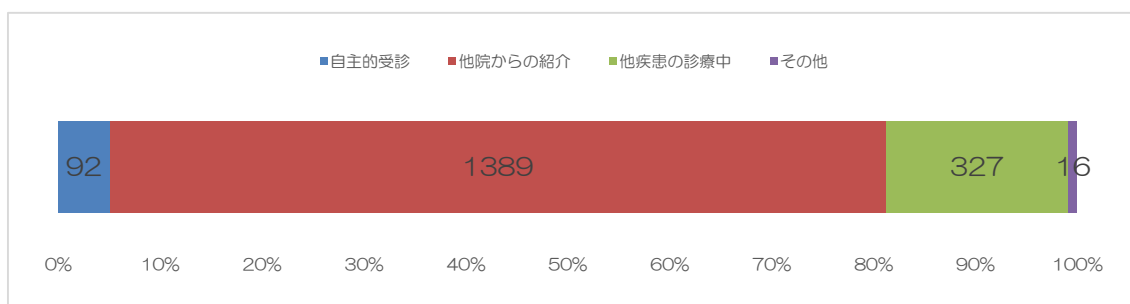
以下は、2017年登録症例のうち、当院にて初回治療を行った **1824 件**（症例区分 20、21 および 30、31）を分析しています。

初回治療とは、診断に基づいて計画される初手の治療のことで、具体的にはがん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）を及ぼす治療を指します。なお、この初回治療には、他施設で初回治療を開始し当院でその初回治療を継続した症例や、当初から経過観察を選択した症例も含まれております。

グラフ⑥-1 がんを発見するに至ったきっかけの件数・割合

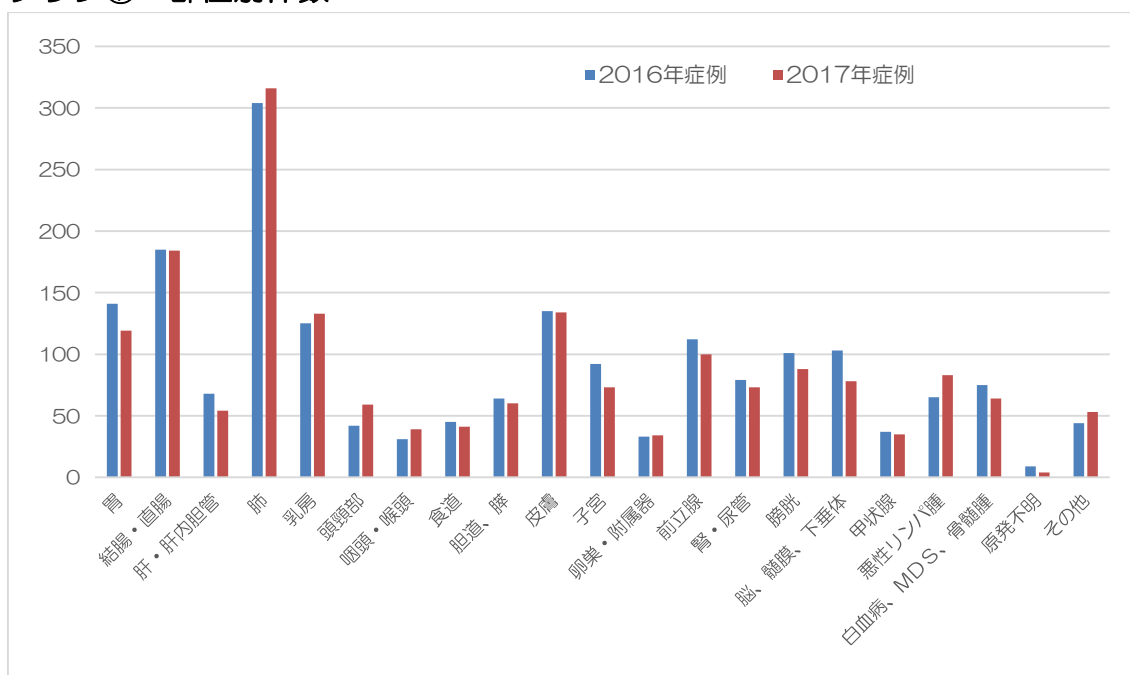


グラフ⑥-2 当院を受診するに至った経緯の件数・割合



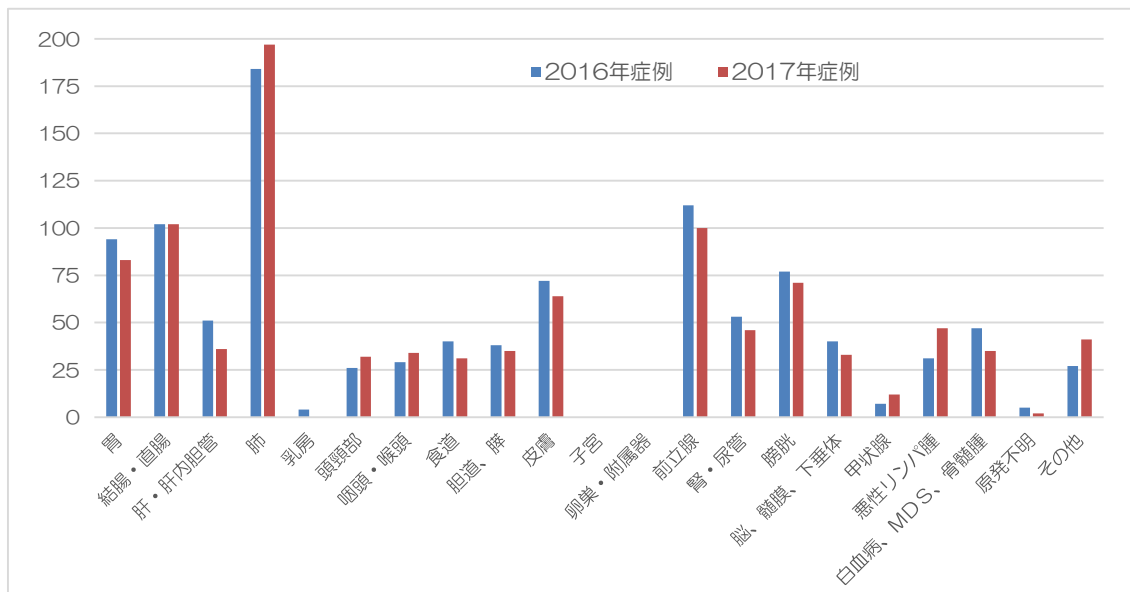
※がん発見のきっかけは自覚症状や別の疾患の治療中に見つかるケースが大半のようです。また、かかりつけ医や近くの病院を最初に受診され、そこから当院を紹介され治療を開始された方が多いようです。

グラフ⑦ 部位別件数

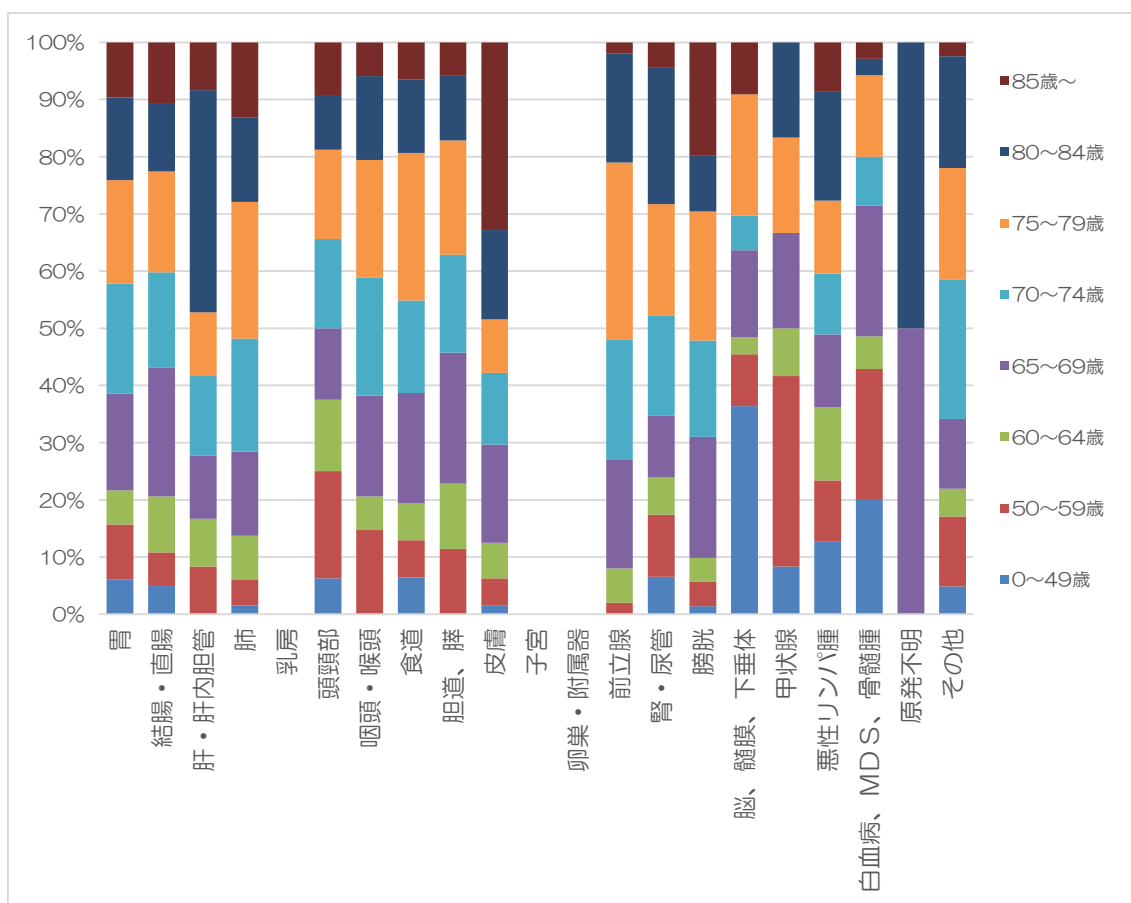


※件数は肺がんが最も多いですが、様々な種類のがんを診療しております。

グラフ⑧-1 男性、部位別件数

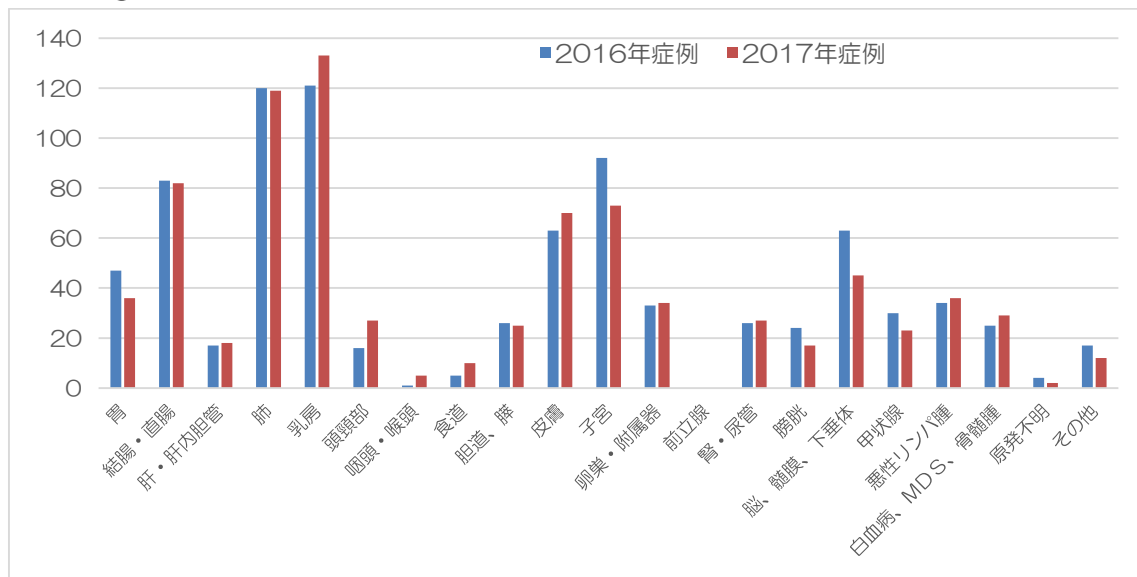


グラフ⑧-2 男性、部位別×年代別割合

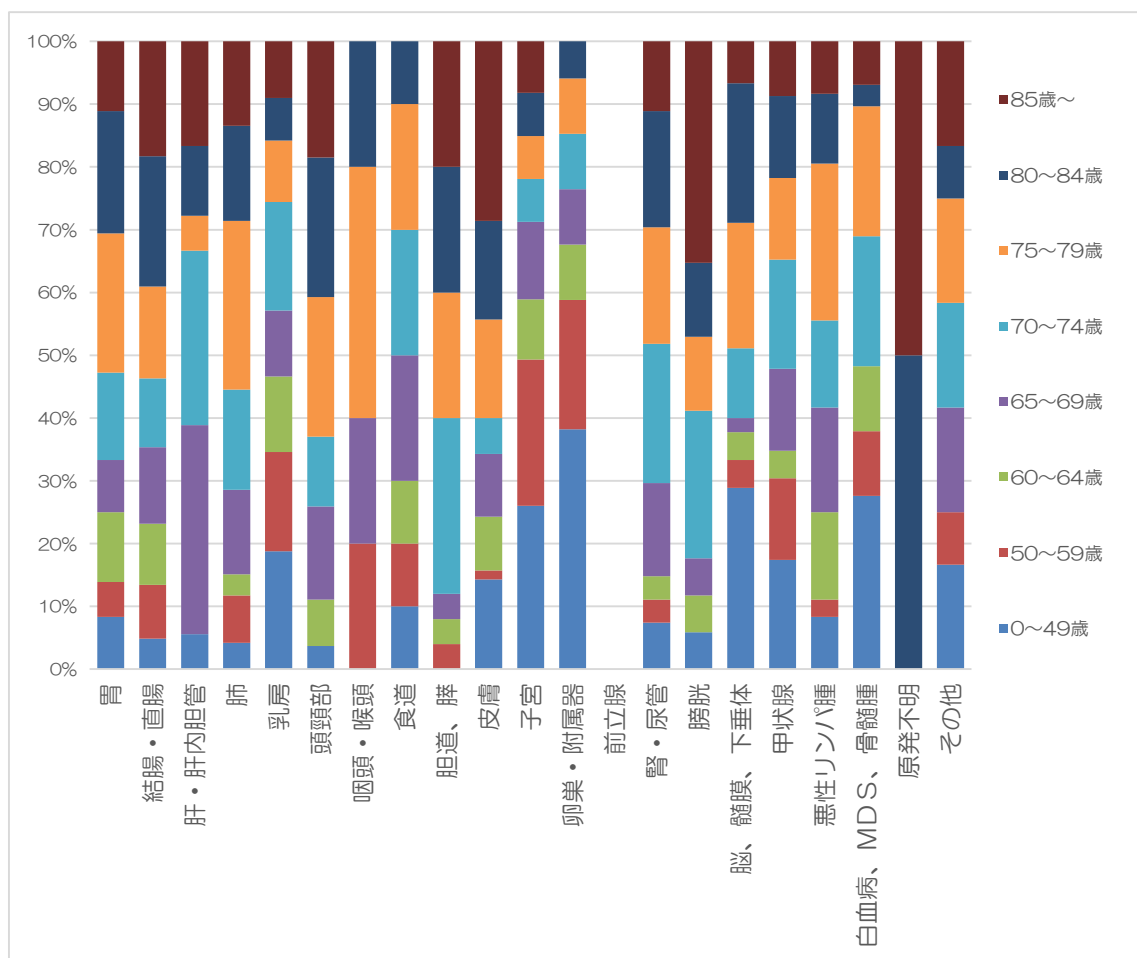


※男性では肺癌が最も多く、次いで大腸や前立腺・胃が多いです。年代別では、脳腫瘍や血液がん、甲状腺癌において、労働世代（64歳以下）の占める割合が多いです。

グラフ㊟-1 女性、部位別件数

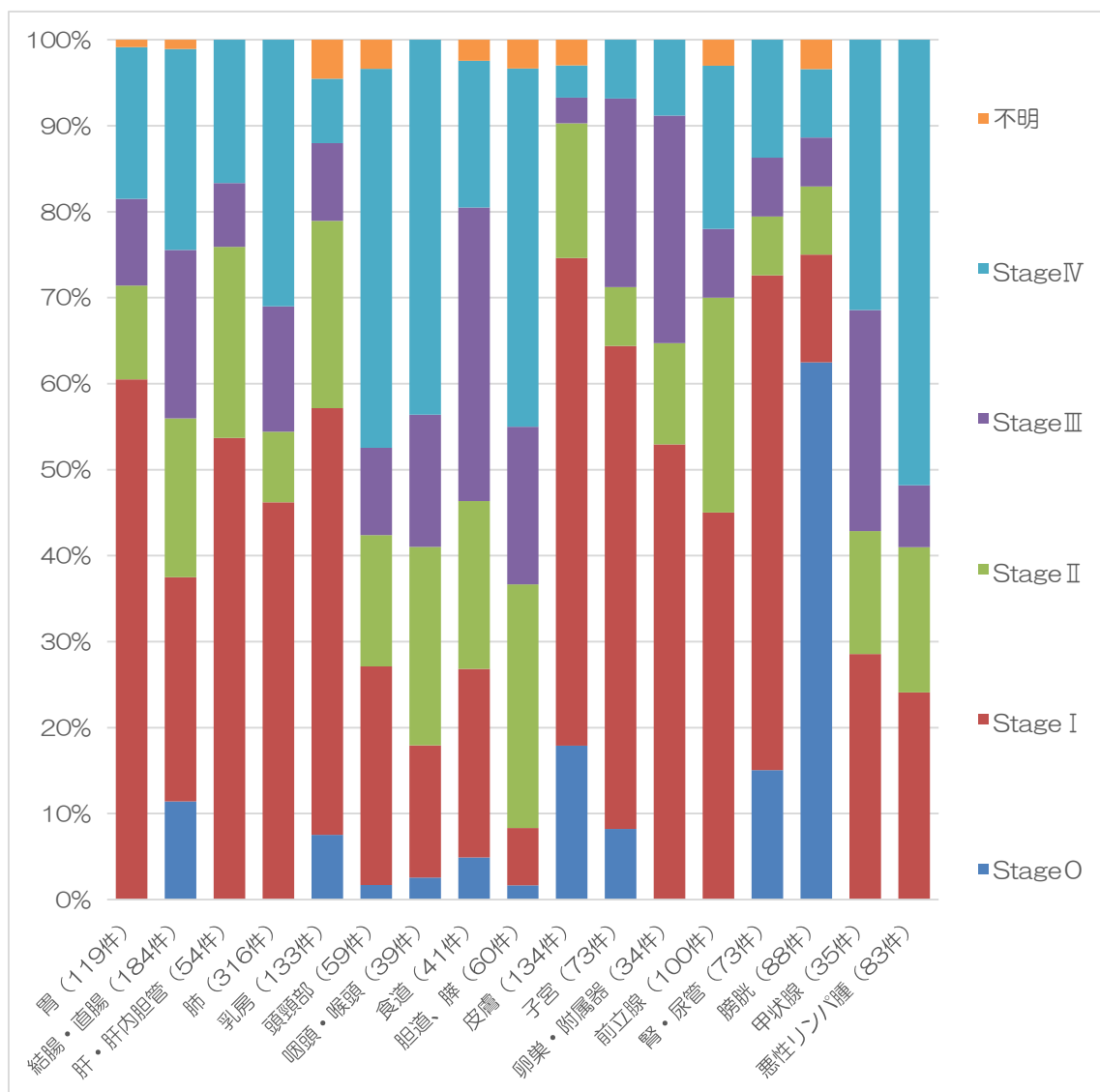


グラフ㊟-2 女性、部位別×年代別割合



※女性では、乳がん、肺がんが最も多く、次いで婦人科がん（子宮、卵巣・付属器）が多いです。特に乳がん、婦人科がんは労働世代（64歳以下）の占める割合が多いです。

グラフ⑩ 主な部位のステージ割合（白血病等、脳腫瘍、原発不明癌は除く）

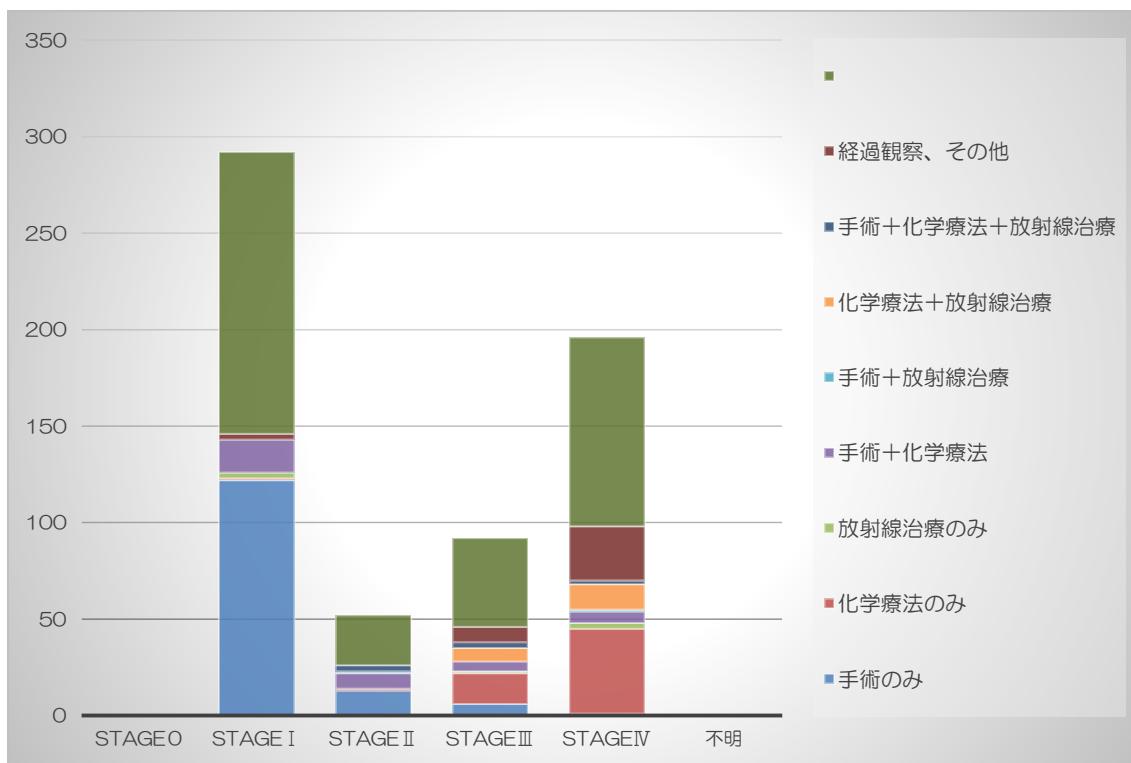


※いずれのがん種においても、早期がんから進行がんまで、状況に応じて多様な治療を行っております。

次に、当院で登録症例の多い6部位における、当院で実施した初回治療内容を示します。院内がん登録のルール上、一連の計画であれば、当院と他施設で共同して治療が行われた症例は、当院で行われた治療として反映しております。いずれの部位も、早期がんでは、手術のみや放射線治療のみなど、単独の治療を実施していますが、進行がんでも様々な治療法を組み合わせた豊富な治療の選択肢を提供し、集学的治療を実施しています。

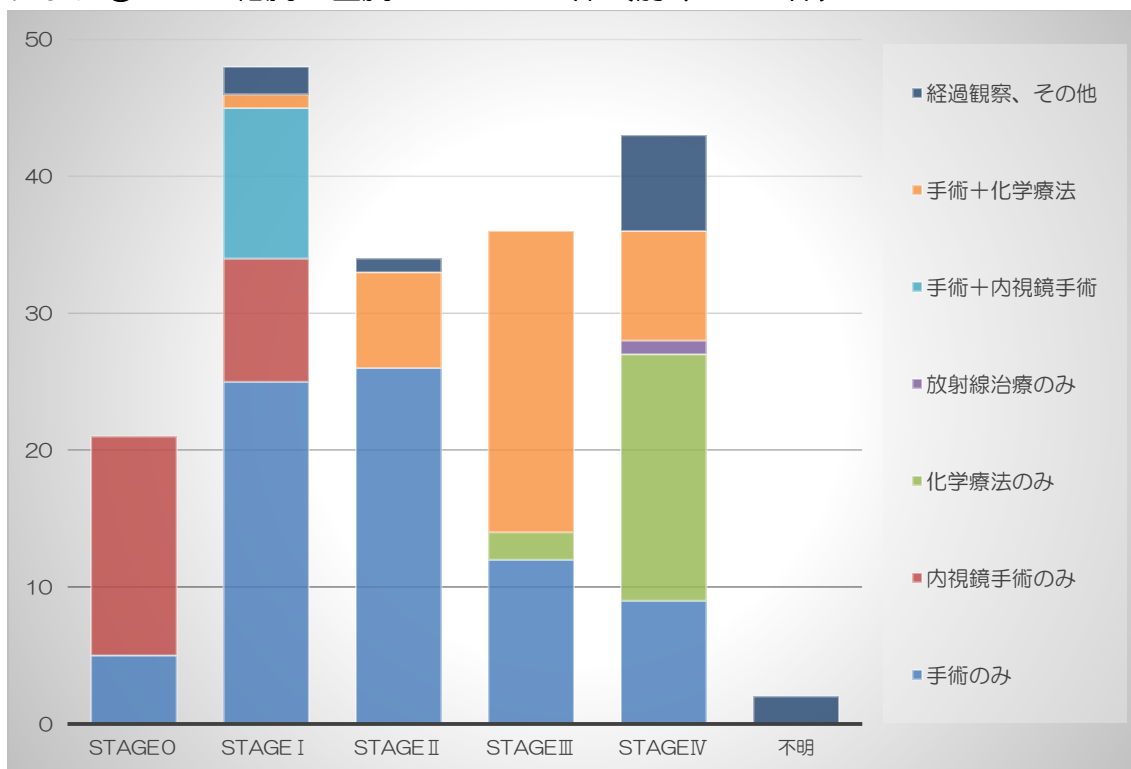


グラフ⑪-1 肺がん 316件（前年304件）



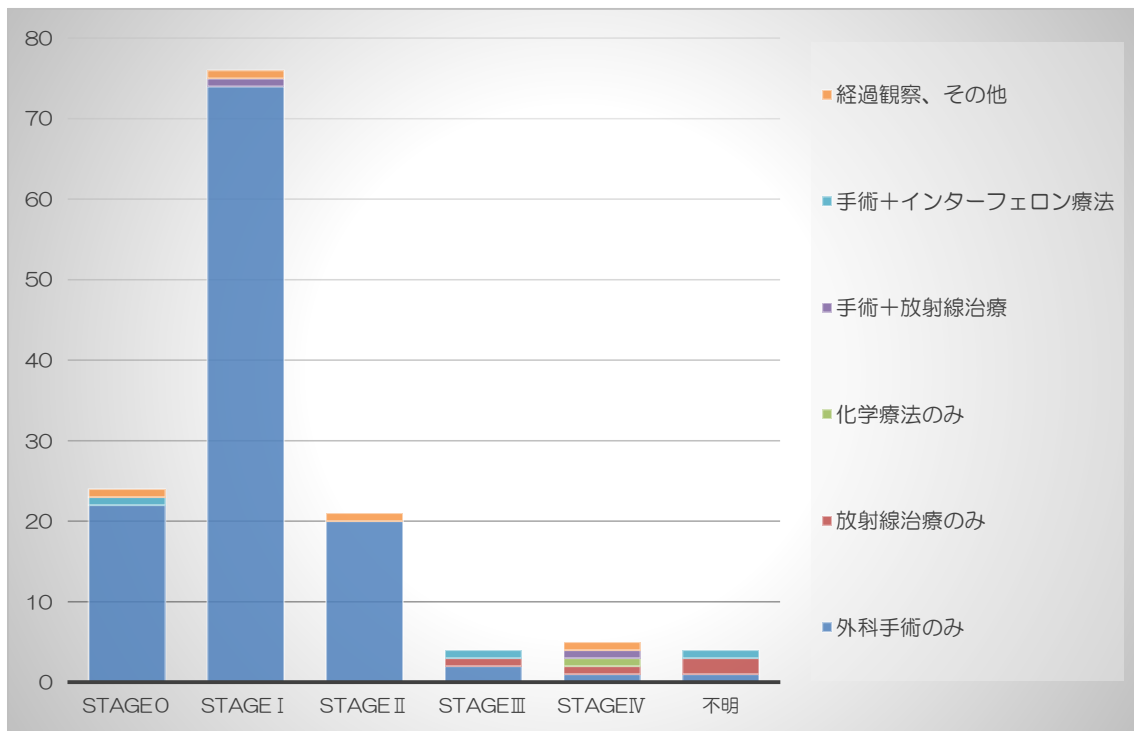
※「手術」は、外科的手術と胸腔鏡を使用した手術をいう

グラフ⑪-2 結腸・直腸がん 184件（前年185件）

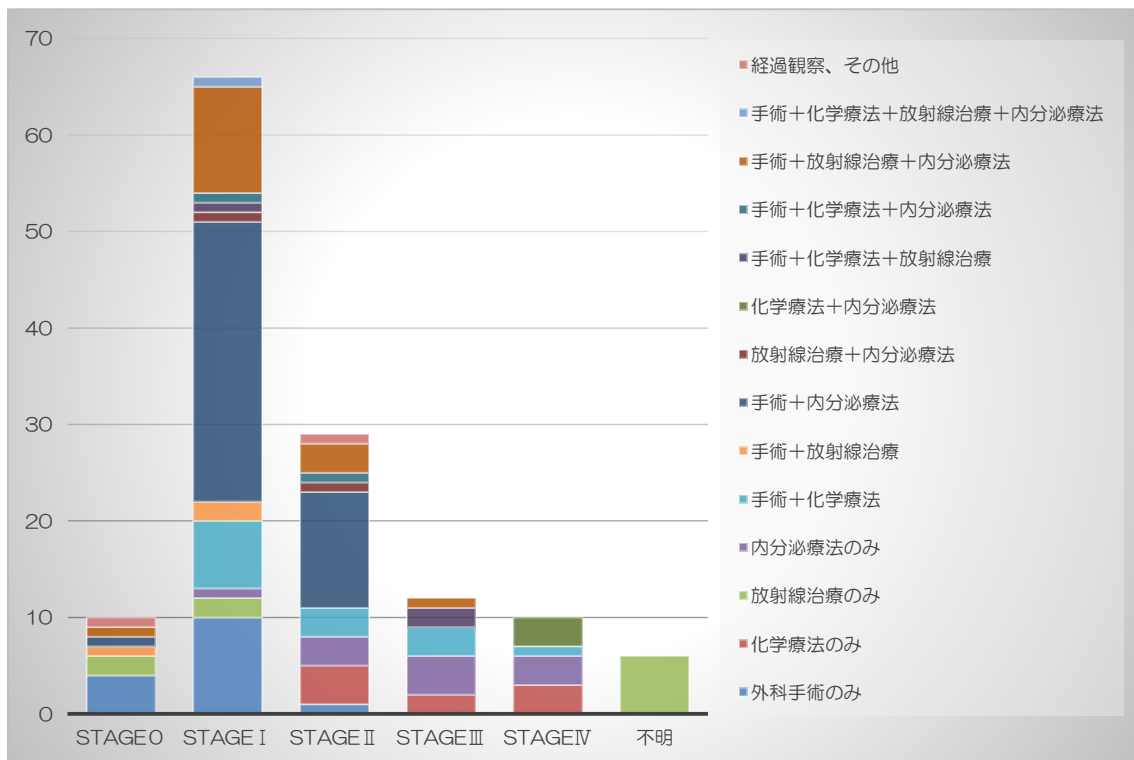


※「手術」は、外科的手術と腹腔鏡を使用した手術をいう

グラフ⑪-3 皮膚がん 134件（前年135件）

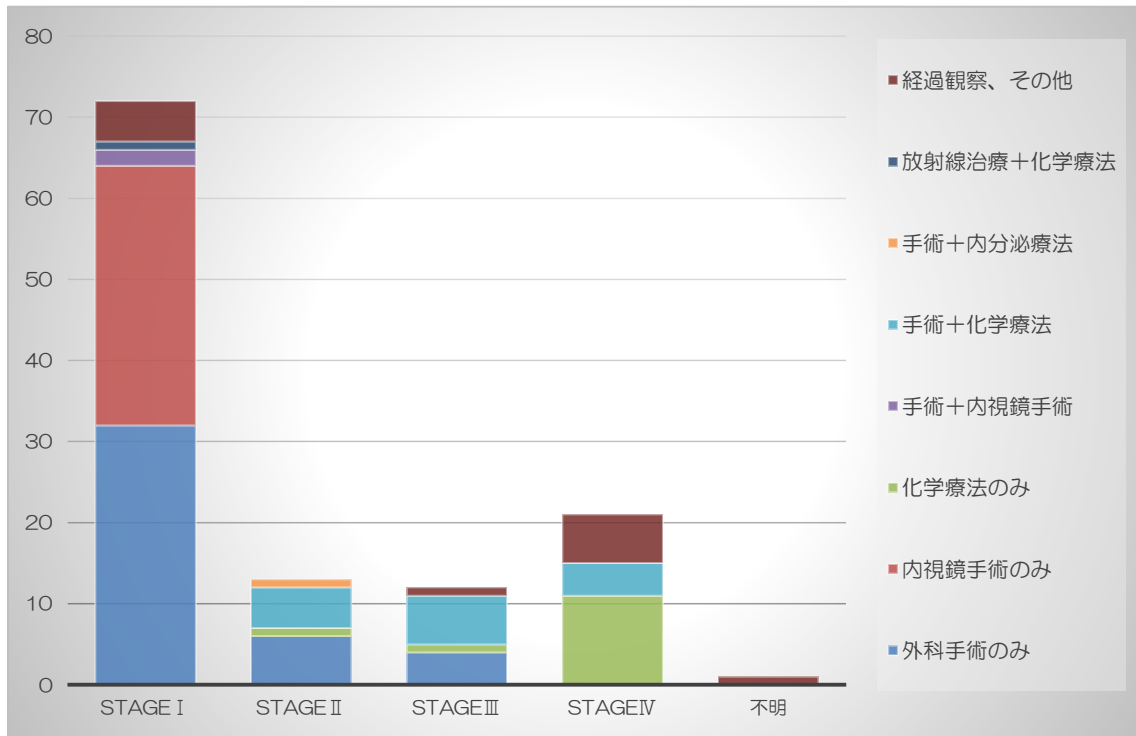


グラフ⑪-4 乳がん 133件（前年125件）



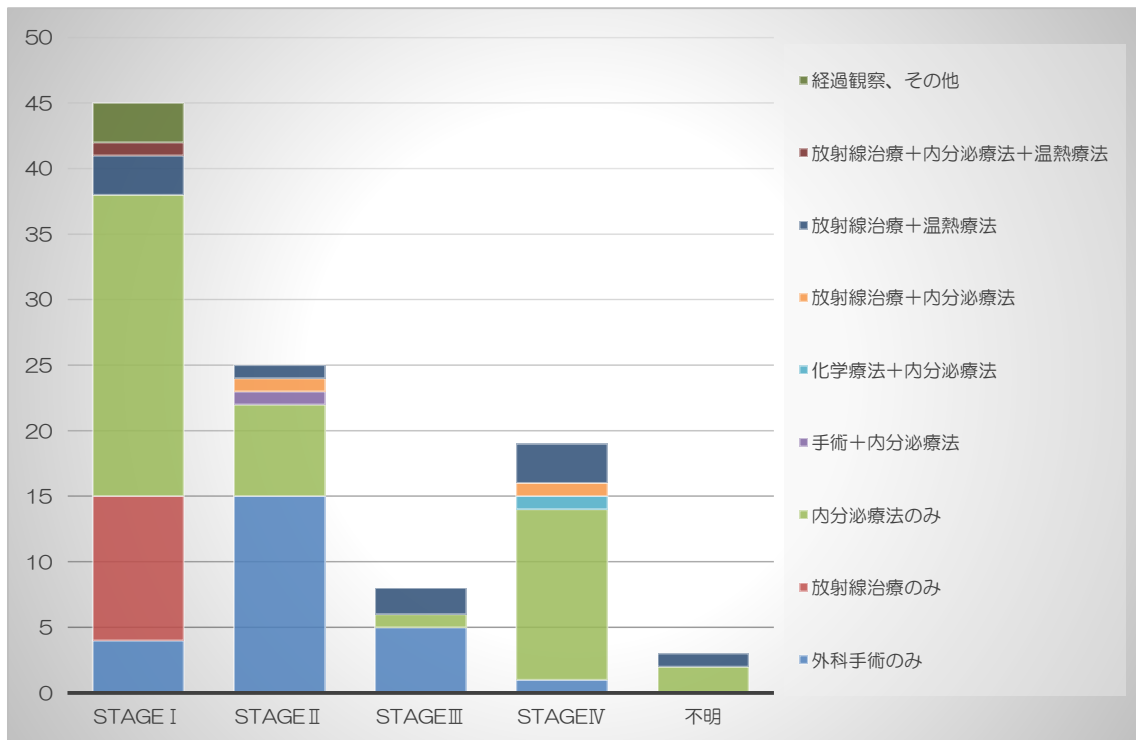
※「手術」は、外科的手術と鏡視下手術をいう

グラフ⑪-5 胃がん 119件（前年141件）



※「手術」は、外科的手術と腹腔鏡を使用した手術をいう

グラフ⑪-6 前立腺がん 100件（前年112件）



※「手術」は、外科的手術と腹腔鏡を使用した手術をいう